

2022年8月15日

北海道大学総長
寶金清博 様

外国人教師官舎跡に案内板とモニュメントの設置を

宮澤・レーン事件を考える会

代表幹事 山本玉樹 唐渡興宣 相馬述之

時下先生におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年12月4日より本年1月末まで、北大総合博物館に於いて、博物館・文書館主催、私たち「考える会」協力のもと、「宮澤・レーン事件80周年特別展」が開催されました。史実に基づく展示は、市民に大きな感動を与えました。改めて関係各位のご理解とご尽力に感謝を申し上げます。

見学者の感想文には、展示を観た感動や宮澤さん・レーン夫妻の生涯への思い入れとともに、「外国人教師官舎跡に案内板を」「事件の現場であることを示す表示を」「心の会の碑の設置を」等々の意見が少なからず記されておりました。

2016年1月に発足した私たち宮澤・レーン事件を考える会は、今日までの6年余、多くの研究者やゆかりの人々のご協力のもとに、宮澤弘幸さんとレーン夫妻の人となり、事件の真相とその背景を多方面から明らかにしてきました。肝心なことは、戦雲迫る時代にあっても、国籍や身分の違いを越えて学問の真理を追究し、視野を世界に広げ、固い信頼で結ばれた学生・留学生(中国人など)と外国人教師の営みがあったということです。彼らは「心の会(ソシエテ・デュ・クール)」を結成してその繋がりゆかりの拠りどころとしました。そこには札幌農学校ー北大の歴史の底に流れるリベラルで豊かな歴史、換言すれば Boys be ambitious! のクラーク精神、新渡戸稲造をはじめとする卒業生たちに受け継がれてきた国際理解の精神が息づいていたのではないのでしょうか。

来る2026年、北大は創基150周年を迎えます。北大は一貫したSDGsの取り組みの上に、昨年12月「北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」を発表し、多様性とそれを受け入れる包摂性を未来に描きました。北大には数多くのモニュメントや文化・歴史・建築、自然遺産があり、それらを紹介する案内板やトレイルの表示があります。

「80周年特別展」が終了したいま、私たちは以下の点を要請致します。

- ① 外国人教師官舎跡に案内板を設置すること。そこでは学生・留学生と外国人教師の人的な交流(心の会)があったこと、1941年に彼らが逮捕される事件があったこと等も書き加えること。
- ② 外国人教師官舎跡に「心の会」などを記念する何がしかのモニュメントを建立すること。

外国人教師の官舎は通称新渡戸通に面しておりました。これらが実現されるならば、150年を刻む北大の歴史をいっそう豊かにすることにつながると思います。

上記の要望をぜひご検討下さり、お返事いただければ幸いに存じます。